

会議録要旨

(1)会議の名称	第3回 芦原温泉駅周辺整備基本計画改定ワーキング部会
(2)開催日時	平成28年12月5日(月) 15:10～17:30
(3)開催場所	あわら市役所 301 会議室
(4)出席委員氏名	藤澤委員、岡永委員、矢崎委員(代理)、奥村委員、津田委員、田端委員、川口委員、高橋(範)委員、村上委員、高橋(浩)委員、山田委員、高木委員、細川委員、深水委員、北川委員、長谷川委員、小嶋委員、後藤委員、能美委員、杉本委員、松永委員 21名
(5)欠席委員氏名	なし
(6)会議議題	・東西自由通路及び駅前広場(西口、東口)について ・その他(意見交換)
(7)会議資料名称	芦原温泉駅周辺整備基本計画(改定案)
(8)会議の内容の要旨	<p>委・路線バスは現行ダイヤの本数であるなら3バースで可能。このうち降車スペースは使用を限定せず、季節バス等の利用として加味していただきたい。</p> <p>委・タクシーは駐車場がある程度確保されていれば問題ない。</p> <p>委・旅館送迎バスで2バース確保されるなら問題ないと思う。</p> <p>委・将来の可能性を考え、余地を残しておけるロータリー計画であると良い。</p> <p>委・交通機能と賑わい景観機能の2つの評価の視点について、今後あわら市のまちづくりを考えていく上で、はっきり決め切れる訳でもないが、どちらを重視したらよいか。また観光機能に関する評価は必要ないだろうか。</p> <p>委・デジタルサイネージを改札付近に設置して観光案内所を補完することも考えられる。</p> <p>委・ロータリー案には商店街方面への歩行者動線の表記が必要。</p> <p>委・自由通路の先にある市道105号線の横断歩道は、安全性を確保した位置に移動させた方がよい。</p> <p>委・1ロータリーの評価は、事業者から見て現状で安全性が確保されているのであれば、でなくとして評価しても良いのではないかと。</p> <p>委・以前から現状の形態で運用しているため、安全上の問題は認識していないが、営業車と一般車は分離させた方が望ましい。</p> <p>委・西1案は広場面積が大きいので、あわら市としての覚悟等を伺いたい。</p> <p>委・様々な広場活用の支援を検討していきたい。</p> <p>事・西1案は市民投票結果と合致するイメージであるため摺り合せが必要。</p> <p>委・a キューブ周辺はイベント等で賑わいを作らないと賑わいが出ない空間であり、商店街方面や竹田川方面は日常生活での賑わいの空間と考える。</p>

	<p>委・新富繁栄会としては市民投票結果を踏まえると、西 1 案をベースに考える必要がある。ただし一般車駐車が遠いので駐車を自由通路近くに配置できないか。また、広場の大きな空間で何ができるか議論する必要があるが、新幹線開業と同時に在来線が移設しない事を考えると、駐車場として暫定整備することも考えられる。</p> <p>委・駅に一番近い駐車が東口市営駐車場なので、送迎は東口に回ってもらう事も考えられる。</p> <p>委・東口市営駐車場は新幹線駅にも近く利便性は高い。</p> <p>委・立派なロータリーを作って閑散とした空間になるのであれば、交通機能の評価を下げたらどうか。</p> <p>委・a キューブ北側にある空間は何か。</p> <p>事・本陣にぎわい広場と一体的利用する広場として計画し、駅を降りてこの広場を通り、金津本陣 IKOSSA 方面を周遊・回遊した賑わいの充実を考えた広場である。</p> <p>委・東口の駐車場は通路の幅員が狭く、また行き止まりの形状になっているため事故の危険性が考えられる。</p> <p>委・東口広場は市道を広場に含めて考えたらどうか。</p> <p>委・新幹線の改札前の空間や、在来線が移設された後の改札前の空間は 8 m になるが、在来線駅を過ぎた西口方面の階段までの短区間が 4.5m になるので、6m 等の一定の幅員で通した方がスムーズではないか。</p> <p>事・JR 西日本のキュービクルが支障となり、移設に時間とお金がかかる。また工事の制限などもあり難しいと判断し 4.5m になった。</p> <p>委・エスカレーターや階段周辺は混雑するので、部分的に広くしていただきたい。</p> <p>委・駅前広場周辺について植栽を含めた景観面での総合的なイメージを提示していただきたい。</p> <p>委・西 3 案はタクシー待機場の台数をもう少し確保していただきたい。</p>
--	--